

《全国初、池田発の地域分権》

地域の人が共生し、みんなで作る 安心・安全・きれいなまち

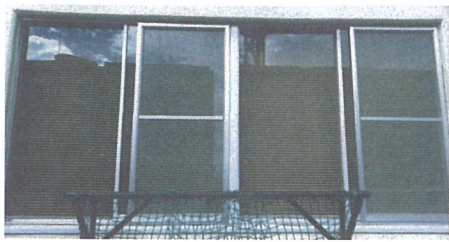
いしばしみなみ

NO.52

発行
石橋南地域コミュニティ
推進協議会
編集
広報部会

コミュニティ活動便り

令和7年度 事業実施状況



①会館設備改修事業
空港会館網戸設置(7月)



②会館設備改修事業
石橋会館トイレ手摺設置(11月)



③石橋地下道美化事業
石橋駅高架下壁面の美化(11月)



④今井水路改修事業
ゴミ取枠の移設(3月)



⑤多世代交流支援事業
ロボホン導入事業(4月)



⑥多世代交流支援事業
テレビ・スピーカー・マイク設置(6月)



⑦防犯カメラ維持管理事業
防犯カメラ作動中シール作成(7月)



⑧地域行事活動推進事業
石橋まつりやぐら看板等(7月)



⑨花いっぱい運動支援事業
石橋南小で花苗の育成・配布(7月)

上記9事業の実施により、市実施事業の防犯カメラ維持管理事業をはじめ11事業と地区実施事業の会館管理運営事業をはじめ6事業の全ての事業を年度内に実施しました。

ことば



相田 みつを

“ともかく具体的に動いてごらん。
具体的に動けば、具体的な答えが出るから。”
みつを

1924～1991 栃木県足利市に生まれ、生涯を書家・詩人として「書」を書くことに捧げた。代表作に「にんげんだもの」「逢」ほか。

“昭和”と“令和”の良いところ!!

昭和100年のいま、リアルな昭和を知らない世代が増えて来ました。

昭和、平成、令和、その先の時代も人が人を大切にして、ともに微笑み合える時代であることを願いつつ!!

“昭和”の良いところ

「日本語が美しかった」

今のような略語やカタカナ語が乱舞することもなく、言葉づかいに真心がこもっていた。奥ゆかしさ、はじらい、今では死語になってしまったのでは？

(昭和36年生・女性)

「精一杯働く事が出来た」

昔は労働時間制限や休日出勤、残業時間規制などなく、精一杯働くことが出来た。スムーズに仕事が進み、お金も稼ぎやすかった。

(昭和12年生・女性)

「将来に不安などなかった」

お金に困ることも少なく周囲もおおらかでのんびり過ごせた。アトピー皮膚炎や花粉症の人も少なかった。

(昭和7年生・男性)

「温かくて良かったと思う」

いろんな事が華やかで分かりやすく、人とのつながりが温かくて良かったと思う。

(昭和54年生・女性)

「楽だった」

価値観が一定幅に収まっていて、人間関係、職場環境づくりが楽だった。

(昭和34年生・男性)



“令和”の良いところ

「便利でどん底知らず」

薪を焚かなくてもお風呂に入れる。車も電話もあって、あらゆることが便利になった。昔のようにどん底の暮らしをする人が減った。

(昭和7年生・男性)

「ITのちから」

個が中心となるコミュニティーをITの力で容易に形成出来るようになって来た。(それが犯罪を引き起こすデメリットにも……)

(昭和34年生・男性)

「動画や写真を簡単に残せる」

スマホの動画をたくさん残せ、子供の可愛い一瞬をたくさん保存出来、思い出を残せる。“心のいやし”。

(昭和61年生・女性)

「福祉の充実」

介護施設の充実、介護保険でヘルパーさんに来てもらう事が出来、子育て環境も充実してきた。各種、手当や社会保障も手厚くなった。

(昭和12年生・女性)

「買い物がしやすくなった」

インターネット販売が当たり前になり、買い物がしやすくなった。専門的な物でも手軽に入手でき、仕事が忙しくても買物が出来る。

(昭和61年生・女性)

